

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

磐田市教育委員会

1 はじめに

令和6年4月に実施した「令和6年度全国学力・学習状況調査」の概要をお知らせします。本市の調査結果を公表することにより、児童生徒に関わる様々な立場の方々に関心をもっていただき、学校・家庭・地域が一体となって磐田市の子どもたちを育てていきたいと考えております。

なお、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分を測定したものであり、子どもたちの学力や学習状況を把握する資料の一つとして、一人一人に応じた指導や学習状況の改善のために役立てていきたいと考えております。

※結果分析と今後の対策については、10月中にお知らせする予定です。

2 小学校調査における結果概要

(1) 全国学力・学習状況調査平均正答数と平均正答率

	国語		算数	
	平均正答数 (14問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (16問)	平均正答率(%)
磐田市	9.6	69	10.1	63
県(公立)	9.4	67	9.9	62
全国(公立)	9.5	67.7	10.1	63.4

(2) 成果と課題

国語	算数
<ul style="list-style-type: none">○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。●人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる問題に課題があった。	<ul style="list-style-type: none">○速さの意味について理解しているかどうかをみる問題の正答率が高かった。○折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題の正答率が高かった。●直径の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる問題に課題があった。

＊課題に示した調査問題 [国語]

二 原さんは、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ島さんと話し合うことになりました。次は、「話し合いの様子」です。これをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

原さん	私は、オニグモじいさんがハエの女の子に、(①)を示しながら「わしみたいなクモが、生きるために食べているのはな」と言っていてやめたところが心に残ったんだ。
島さん	なぜ、そこが心に残ったの。
原さん	この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。(②)を示しながら「大きな目をひらいて、いっしょうけんめいに」とあるようなハエの女の子のすなおな姿を見て、自分がハエの子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。
島さん	そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(③)を示しながら「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。
原さん	そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由ははっきりしてきたよ。島さんは、どこが心に残ったの。
島さん	私は、(④)を示しながら「きれいな虹がかうかんで見えるだけ」という表現がいいなと思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。

三 原さんは、島さんと話し合ったあと、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。あなたなら、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
- 「物語」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

[算数]

(2) 図1のような円柱があります。



図1

図1の円柱の展開図はどれですか。

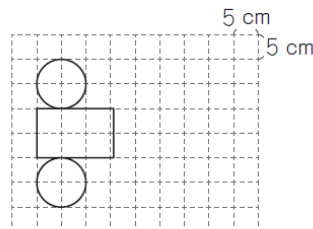
下の 1 から 4 までの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

図1の円柱を、図2のように切り開くと、展開図ができます。

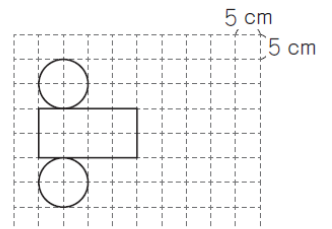


図2

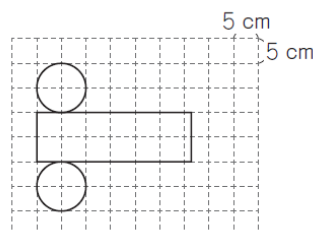
1



2



3



4

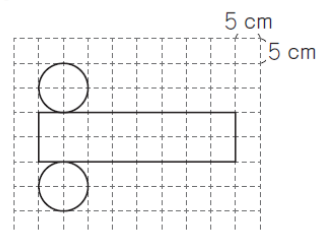


図1の円柱の展開図を、側面の形を長方形にして、工作用紙にかきます。

このとき、長方形の横の長さは、円柱の底面の円周の長さと同じになります。

3 中学校調査における結果概要

(1) 全国学力・学習状況調査平均正答数と平均正答率

	国語		数学	
	平均正答数 (15問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (16問)	平均正答率(%)
磐田市	8.9	59	9.0	56
県 (公立)	8.9	59	8.9	55
全国 (公立)	8.7	58.1	8.4	52.5

(2) 成果と課題

国語	数学
<ul style="list-style-type: none"> ○話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる問題に課題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題に課題があった。

* 課題に示した調査問題

[国語]

④ **フィルターバブル現象**

自分の好む情報「だけ」に囲まれ、多様な意見から隔離されやすくなる現象。

(文部科学省ウェブページによる。一部改変。)

〈解説〉

インターネットで検索したり閲覧したりした履歴が、使用した通信機器などに記憶され、解析されることで、その利用者の好む情報が優先的に表示されるようになる。一方で、好まないと判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなったりする状態のことを「フィルターバブル現象」という。

例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。

山岡さん: 皆さんは、【フィルターバブル現象の資料】にあるような経験がありますか。

今井さん: 私の兄は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、趣味にしている将棋に関する本の表示が多くなったと言っていました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。

山岡さん: 〈解説〉の例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、話題を「フィルターバブル現象と本の選び方」にして話し合ってみませんか。

今井さん: 身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。

フィルターバブル現象の資料

1

山岡さんたちは、国語の時間に、「フィルターバブル現象の資料」をもとに、グループで話題を決めて話し合っています。次の「フィルターバブル現象の資料」と「話し合いの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

話し合いの一部

「話し合いの一部」の——線部①「でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 藤田さんの経験が、「フィルターバブル現象の資料」の内容に当てはまるのかどうかを確認しようとしている。
- 2 藤田さんの経験が、「フィルターバブル現象の資料」の内容とは関係していないことを明らかにしようとしている。
- 3 藤田さんの経験をもとに、「フィルターバブル現象の資料」の内容に反対する意見を述べようとしている。
- 4 藤田さんの経験をもとに、「フィルターバブル現象の資料」の内容に誤りがあることを指摘しようとしている。

藤田さん：私は、この前、インターネットで和菓子作りの本を探して購入しました。そのあと、インターネットを利用するたびに、和菓子作りに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見付かりました。

今井さん：たくさん本がある中で、自分の好みに合った本を選んでくれるのは、便利ですね。①でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。

藤田さん：そうですね。言われてみれば、和菓子作りに関する本がたくさん表示されていたので、最近、それ以外の本の情報にあまり触れていなかった気がします。②(図)のこのあたりにいるような感覚ですね。今井さんは、ふだんどうやって本を選んでいらっしゃるのですか。

今井さん：私は、図書館や書店で本を選んでみます。読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めていると、思いがけない本との出会いがあって興味が広がると感じています。

藤田さん：図書館や書店でいろいろな本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が偏るような状態にはならないでしょうね。

山岡さん：そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している側の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないのでしょうか。

今井さん：そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶことと似ていますね。③おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

山岡さん：フィルターバブル現象のことを意識すると、本の選び方についても改めて考えてみる必要があると感じました。皆さんは、これからどのように本を選ぶと思いますか。

【数学】

- 8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

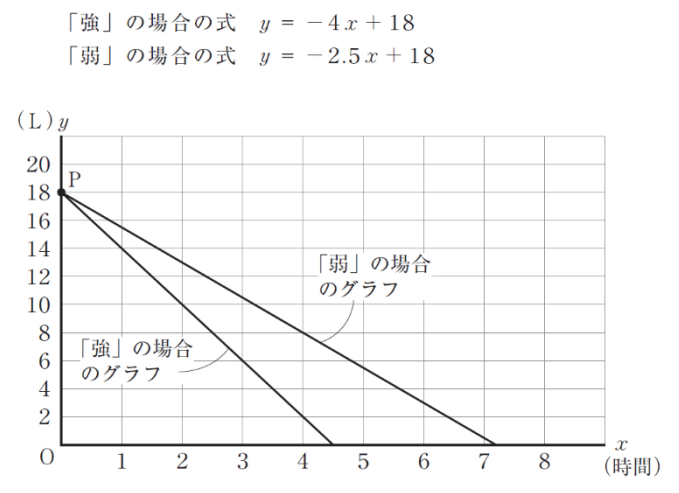
説明書の情報

ストーブの設定	強	弱
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5

結衣さんは、ストーブを6時間使用して、18 Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考えることにしました。そのために、18 Lの灯油が入ったストーブの「強」の場合と「弱」の場合について、ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を調べることにしました。

そこで、結衣さんは、説明書の情報の1時間あたりの灯油使用量は常に一定であるとし、ストーブを使用し始めてから x 時間経過したときの灯油の残量を y Lとして、「強」の場合と「弱」の場合の x と y の関係をそれぞれ $y = 18 - 4x$ 、 $y = 18 - 2.5x$ と表しました。そして、この2つの式をそれぞれ $y = -4x + 18$ 、 $y = -2.5x + 18$ と表し直し、次のページのようなグラフをかきました。

ストーブの使用時間と灯油の残量



- (2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それをを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ